

2026 年度 第 1 回 鋼構造運営委員会 議事録

1. 日時 2026 年 5 月 19 日 (火) 13 : 30～17 : 00
2. 場所 202 会議室＋オンライン開催 (Zoom)
3. 出席者 岡崎太一郎, 石原直, 聲高裕治, 浅井英克, 五十嵐規矩夫, 石田交広, 井戸田秀樹,
(敬称略) 伊山潤, 宇佐美徹, 小野潤一郎, 金尾伊織, 吉敷祥一, 北岡聡, 城戸將江,
木村祥裕, 桑原進, 佐川隆之, 佐藤篤司, 澤本佳和, 鈴木淳一, 田川浩, 中野達也,
松本由香, 見波進, 村上行夫, 安永隼平, 和田昌敏, 浅田勇人(代理),
安田聡(記録) 下線：欠席者
4. 資料 (ストレージサーバ)
 - 01_01_01 鋼構造運営委員会委員名簿 (石原幹事)
 - 01_01_02 2026 年度第 1 回鋼構造運営委員会議事予定 (岡崎主査)
 - 01_02 2025 年度第 4 回鋼構造運営委員会議事録(案) (安田幹事)
 - 01_04 座屈小委員会資料 (金尾委員)
 - 01_05_1 接合小委員会資料 (松本委員)
 - 01_05_2 表紙＋改訂の序 (松本委員)
 - 01_05_3 溶接ガイドブック序文_鋼構造運営委員会査読対応案追記 (松本委員)
 - 01_06 素材小委員会資料 (見波委員)
 - 01_07 時刻歴耐震設計指針検討小委員会資料 (伊山委員)
 - 01_08 各種合成構造改定委員会資料 (吉敷委員)
 - 01_09 環境小委員会資料 (和田委員)
 - 01_10 塑性設計小委員会資料 (佐藤委員)
 - 01_11 耐火設計小委員会資料 (鈴木委員)
 - 01_12 限界状態設計指針改定小委員会資料 (井戸田委員)
 - 01_13_01 災害委_能登半島地震報告書の連絡 (石原幹事)
 - 01_13_02 能登半島地震における鋼構造建物の被害調査 (石原幹事)
 - 01_13_03 能登半島地震_原稿案 (石原幹事)
 - 01_13_04 令和 6 年能登半島地震災害調査WG (石原幹事)
 - 01_14 学会図書の質疑に対する回答状況一覧 (石原幹事)
 - 01_15 若手優秀発表選考実施要綱等 (聲高幹事)
 - 01_16 2026 年度大会 PD(鋼構造)開催予告原稿案 (伊山委員)
 - 01_17 2027 年度大会 PD 企画 (金尾委員)
 - 01_18_01 将来方針策定 WG (岡崎主査)
 - 01_18_02 第 1 回将来方針策定 WG 議事録案 (石原幹事)
 - 01_19 重点審議履歴 (岡崎主査)
 - 01_20 2026 年度大会プログラム編成の報告 (安田幹事)

5. 議事内容

(1) 本年度の新任委員の紹介および委員名簿の確認（資料 01-01-01 岡崎主査，石原幹事）

- ・ 新任の浅井英克委員，田川浩委員，安永隼平委員より挨拶があった。
- ・ 2026 年度の委員名簿の確認がなされた。

(2) 前回議事録の確認（資料 01-02 安田幹事）

- ・ 2025 年度第 4 回議事録案について，下記の箇所を修正のうえ承認された。
 - 1) 溶接接合ガイドブックの講習会について「事務局と相談し，8 月に告知する予定で調整中。」と修正した。
 - 2) 2026 年度大会プログラム編成における第 2 回のオンラインミーティングの実施日時を「4 月 24 日(金)13：00～14：00」に修正した。

(3) 構造本委員会の動き（資料なし 岡崎主査）

- ・ 本委員会は未開催。今年度は 7 月 24 日，11 月 20 日，3 月 5 日に開催予定。

(4) 小委員会・WG 等の報告

- ・ 資料 01-04～01-13 に基づき，各小委員会・WG 等の担当委員から活動報告があった。

座屈小委員会（資料 04-04 金尾委員）

- ・ 小委員会は 4 月 23 日に開催。次回は 8 月 17 日開催予定。
- ・ 変形能力評価などについては，塑性設計指針とのすみ分けや整合を図る必要があるとの認識を小委員会内で共有した。塑性設計指針小委員会との合同委員会の開催を検討。
- ・ 諸問題の英文化については，7 月 24 日の構造本委員会において刊行承認を諮る予定。

接合小委員会（資料 01-05-01～03 松本委員）

- ・ 小委員会は未開催。
- ・ 溶接接合設計施工ガイドブック改訂について
 - ・ 1～6 章＋付録：構造委員会査読完了，改訂原稿，図表等データの入校完了
 - ・ 序文：鋼構造運営委員会査読完了，構造委員会査読中。
 - ・ 改訂講習会の日程について事務局・出版担当と協議中。

素材小委員会（資料 01-06 見波委員）

- ・ 小委員会は未開催。
- ・ 原稿作成継続中。小委員会内査読は未着手。

時刻歴耐震設計小委員会（資料 01-07，資料 01-16 代理：浅田先生）

- ・ 小委員会は 5 月 14 日に開催。次回は 7 月 1 日開催予定。
- ・ 中地震（稀）～大地震（極稀）の中間程度の入力レベルとして 50 年超過確率 39%相当の入力地震動の解析事例を検討。
- ・ 大会 PD の会告(案)を確認。司会を石原幹事，副司会を浅田先生に変更。
- ・ PD 資料の事務局への提出締切は 7 月 31 日。大会研究集会予告原稿は 4 月 21 日に提出済。

各種合成構造小委員会（資料 01-08 吉敷委員）

- ・ 小委員会，WG は未開催。

- ・ 今年度からWG中心に議論を進める。
- ・ 各WGの新任委員については実務者等の有識者を広く募集する。

環境小委員会（資料 01-09 和田委員）

- ・ 小委員会は4月10日に開催。次回は6月12日開催予定。
- ・ 小委員会開催頻度を増加させて執筆作業中。2027年度に刊行が後ろ倒しになる可能性あり。
- ・ 近年刊行された「建築物の解体工事施工指針（案）」との整合を考慮する。

塑性設計小委員会（資料 01-10 佐藤委員）

- ・ 小委員会は5月17日に開催。次回は6月18日開催予定。
- ・ 著作権について事務局と相談し、新規の図は著者へ直接確認（メール等で証跡保存）を進める方針。旧版掲載図の再利用は原則問題ないと思われるが、事務局出版担当へ再確認中。
- ・ 5月20日までに著者校正原稿を事務局に提出予定。6月に印刷・製本し、7月中旬に納品の予定。改定講習会は、7月22日（大阪）、7月28日（東京：動画配信あり）を予定。

耐火設計小委員会（資料 01-11 鈴木委員）

- ・ 小委員会は3月30日に開催。
- ・ 運営委員会用の査読原稿は4月上旬にストレージサーバーに提出済。査読期間は2か月程度とし、6月21日を期限とする。

限界状態設計指針改定小委員会（資料 01-12 井戸田委員：欠席）

- ・ 小委員会は4月18日に開催。
- ・ 次回8月5日に運営委員会で重点審議する予定。

災害委員会等（資料 01-13-1～4 石原幹事）

- ・ 能登半島地震報告書作成状況を共有。
- ・ 鋼構造建物の被害状況については倉田先生を中心に取りまとめ中。
- ・ 鋼構造建物を含めた文教施設の悉皆調査報告の原稿がすでに提出済みである可能性が共有された。

(5) 学会図書質疑回答の報告（2026.5.17現在）（資料 01-14 石原幹事）

- ・ 各種合成構造設計指針：【回答済】25-09, 25-10, 25-13, 25-19, 26-1
- ・ 接合部設計指針：【回答済】25-14, 25-18【非受理】25-11, 25-12
- ・ 鋼構造設計規準：【回答済】25-15
- ・ 塑性設計指針：【回答済】25-16, 25-17
- ・ 軽鋼構造設計施工指針：【回答済】25-20

(6) 2025年度大会若手優秀発表賞選考実施要綱（資料 01-15 聲高幹事）

- ・ 若手優秀発表賞選考実施要綱について説明がなされた。審査員は56名の予定。
- ・ 運営委員会HP掲載内容について運営委員会で承認された。→後日、5月20日にHPに掲載。

(7) 2027年度大会PD企画（鋼構造座屈小委員会）（資料 01-17 金尾委員）

- ・ 改定内容について、広く意見を募る・実務者と議論する場として2027年度大会PDを企画。
- ・ 部材単体の座屈設計だけではなく、建物全体としての設計、要求性能との関係づけが重要で

ある。しかし、その議論を行うことは座屈設計指針の枠を超えるので、座屈小委員会だけでなく鋼構造運営委員会全体でPDを企画することも考えられる。

- ・ 次年度以降のPD候補を見据えて、限界状態設計指針、塑性設計指針、将来方針策定WGとの関係整理も必要との意見があった。

(8) 重点審議：鋼構造関連指針・規準類の将来方針策定WG（資料 01-18-01, 02 岡崎主査）

- 1) 岡崎主査から資料に基づき、構造設計に関する各規準・指針について、現状の課題認識を共有し、10年先を見据えて体系を見直しすることの必要性について議論がなされた。

【全体的な共通認識】

- ・ 複数の規準・指針が並立していることにより、内容の重複や位置付けの不明確さが生じていることから、全体を俯瞰した整理が必要であるとの認識で一致した。
- ・ 今後の進め方としては、統合を前提としつつも段階的に検討を進めることとし、まず各規準・指針の目的、適用範囲および他規準・指針との関係を整理し、重複や不整合の明確化を図る。現行規準・指針の構造を見える化することが重要であるとの認識で一致した。
- ・ その上で、各規準・指針の役割分担の見直しを行い、設計思想などの上位概念と個別設計手続きに相当する下位技術とを区分して体系の整理を進める。また、分野横断的な課題については、合同委員会やWGを活用し、連携して検討することがよいとの認識で一致した。
- ・ 長期的には、これらの整理結果を踏まえ、規準・指針体系の再構築を図り、統合（必ずしも1冊にまとめるものではないが、一つ概念として整理する）や体系化（分冊化を含む）を進めることが重要であるとの認識で一致した。

【その他の意見】

- ・ 設計者視点で整理することは有益で、実務で活用しやすい一貫性のある体系の構築を目指すのがよいとの意見があった。
- ・ 降伏耐力を全塑性耐力を用いて規定することは、軸力と曲げが作用する柱、せん断耐力においては難しいのではないかと意見があった。
- ・ 各規準・指針の独自性・研究の自由度を損なわない配慮が必要との意見があった。

- 2) 今年度は将来方針策定WGを今後3回開催する予定。

- 3) 次回の重点審議：限界状態設計指針改定小委員会に依頼済みであるが、2027年度大会PDに関連して座屈小委員会にも準備いただく必要がある。岡崎主査が両小委員会と調整する。

(9) その他

- ・ 2026年度大会プログラム編成の報告（資料 1-20 安田幹事）
大会プログラム編成は4月22日（水）～28日（火）に実施し、無事完了した。
次年度の細々分類について、〔部材〕2次部材に替えて、〔部材〕非構造部材・2次部材を新設する方向で調整する。
- ・ 学会大賞と文化賞：本年度、災害委員会、法制委員会、北海道支部の推薦により、構造・材料分野から石山祐二先生が大賞を受賞された。
- ・ 鋼構造運営委員会懇親会：2026年9月8日（火）に行う予定。関係者に連絡する（安田幹事）。

6. 運営委員会等開催予定

~~2026年度 第1回鋼構造運営委員会~~	~~2026年 5月19日（火）~~	~~13：30～17：00~~
2026年度 第2回鋼構造運営委員会	2026年 8月 5日（水）	13：30～17：00
2026年度 鋼構造運営委員会懇親会	2026年 9月 8日（火）	広島
2026年度 第3回鋼構造運営委員会	2026年12月 4日（金）	13：30～17：00
2026年度 第4回鋼構造運営委員会	2027年 3月15日（月）	13：30～17：00

以上